

アッケシソウを見学する児童生徒たち



アッケシソウの生育を聞く寄島小学校5年児童



アッケシソウを見学するおかやま山陽高校生徒



浅口清掃センター社員による雑草の回収作業



守る会による草刈り作業

アッケシソウ通信

第11号

令和3年11月



アッケシランド遠望

A地区自生地



開花したアッケシソウ



紅葉したアッケシソウ

アッケシソウ通信「第十二号」 によせて

浅口市長 栗山康彦

明治二十四年に日本で初めてアッケシソウが発見されて、ちょうど百三十年という節目の年に、こうして寄稿させていただきます。嬉しく思います。

さて皆様には、平素より市行政へのご理解とご協力を賜わり、心より御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が確認されたから、はや一年半が経ちました。感染拡大防止のため様々なイベントが中止となり、寂しく思われる方も多いでしょう。定期的な草刈りも生徒達の参加ができなくなり、作業も困難となっている中、貴会員である浅口清掃センター様による会社をあげての参加は、広大な自生地の保護に多大なる貢献をいただいております。若い力で自生地の保全維持に努めていただけることは大変ありがたい、市からも感謝状を贈呈させていただきました。今後も、美しいアッケシソウの保護活動がさらに活発になりますことを願っております。

また、このコロナ禍で私は、「今しかできないことにチャレンジすること大切にしてあります。いつも見る景色や、すでに知っていることでも、改めて観察したり調べたりしてみること、新たな発見があります。皆様にもぜひチャレンジしていただき、より一層アッケシソウを愛でていただければ幸いです。

結びに、貴会のますますのご発展と皆様方のご健勝をお祈り申し上げます。お一人おひとりが基本的な感染症対策を徹底し感染拡大を防ぎ、再び多くの方に、アッケシソウを楽しんでいただきたいと思います。

アッケシソウの生育の 保全

岡山理科大学 特担教授

星野卓二

はじめに

星野教授は、当初から寄島町干拓地で発見された絶滅危惧種「アッケシソウ」の研究・調査・保全活動に尽力されており、我々を守る会にとつて力強い指導者でもあります。

今年三月十三日の草刈り作業には「鎌」持参で駆付けていただき、D地区入口周辺の雑草刈りに汗を流して下さいました。それでは、昨年の「アッケシソウ通信」第十号の続編を掲載させていただきます。

四、寄島のアッケシソウ

寄島干拓地のA地区ではアッケシソウは最も大きな群落を形成する。他に、B、C、D、E地区まで多くの場所で見られている。それぞれの地区のアッケシソウ群落の生育環境には、共通点が多い。生育地は海水にかかることはなく、防波堤の地下から湧き出た少量の海水が生育地に流れている。

アッケシソウは純群落を形成する集団もあるが、シオクグ、ヨシ、ハママツナ、

アカザ類が混生している。特に、ヨシやシオクグが優占する集団ではアッケシソウの個体数が減少する傾向がある。アッケシソウを守る会の方を中心とした定期的な草刈りにより、ヨシやシオクグの増殖が抑えられている。年々、アッケシソウの生育地が広がっているのも定期的な管理によるものである。

生育地への海水の供給量は、年々少なくなる傾向が見られる。また、生育地の表層は砂より泥土の比率が高く、有機物の体積が多く海水の供給が十分でない場所では、土壌環境が悪化しアッケシソウの生育が困難となる。以前、C地区の土壌が悪化しアッケシソウが枯死する被害が生じたことがあった。二〇一二年にC地区の土壌を改良し、海水が湧き出ている地点から水路を作った。翌年には、アッケシソウが再生し群落も拡大した。その後、群落が年々大きくなり、安定した生育環境が保たれている。また、ヨシやシオクグが優占するとアッケシソウの生育が困難となる。ただ、海水の供給が十分であればヨシが優占するのを押さえることができ、この実験により、海水の供給と土壌環境がアッケシソウの生育にとつて最も重要であることが明らかになった。

五、アッケシソウの保護

次の七項目は、寄島干拓地のアッケシソウの保護や生育地の復元に重要と思われるものである。

- (一) 適度の海水の供給
- (二) 雨水や海水が淀むのを防ぎ、アッケシソウの生育を阻害する硫化水

素の発生を防止

(三) 定期的な草刈り

(四) 草刈り・耕運した土地にアッケシソウを播種

(五) 虫害への対応

(六) 粘土を含む土壌混入の防止

(七) 種子の流出を防ぐ

瀬戸内海と北海道のアッケシソウの生育環境を比較すると、気候の違いで環境が異なるにもかかわらず、共通点が見られた。北海道でも、かつてアッケシソウの個体数が激減し植生の復元活動が大規模に行われたことがある。

寄島干拓地でも同様な現象が見られた。アッケシソウの保護保全には生育地に大がかりな工事を短時間に行うことは避ける必要がある（*新聞記事を参照）。

アッケシソウは一年草（越年草）であり、種子繁殖でのみ個体を維持している。従つて、冬には親個体はすべて枯れて、種子が毎年発芽することでアッケシソウ集団は維持されている。非常事態に備えて種子の確保も重要と思われる。また、アッケシソウ集団の維持には、海水が常に供給されることと土壌環境の維持が最も重要である。

寄島干拓地のアッケシソウが、今後とも保護され、毎年秋には美しく紅葉し、多くの方に見ていただけることを祈っている。

*（参考）

新聞記事・二〇一一年八月三日読売新聞

聞・北海道

「能取湖のサンゴ草激減「環境改善工事」が裏目に」

北海道網走市の能取湖畔にある国内最大規模のアッケシソウ群落（約四ヘクタール）に、今年は三分の二程度の面積でしかアッケシソウが育っていない事態となっている。アッケシソウは初秋に茎が緑から赤に色が変わり、サンゴに似ていることからサンゴ草とも呼ばれ、環境省のレッドデータブックの絶滅危惧種。地元の卯原内（うばらない）観光協会が行なった環境改善工事が裏目に出たため、事態を問題視した道は三日午前から現地調査に乗り出した。

アッケシソウは濃度三%以下の塩水で生育するといひ、高さは十〜二十センチの一年草。国内の生育地は能取湖など数か所に限られており、能取湖はアッケシソウの観光スポットとして広く知られている。

ここ数年、アッケシソウの色付きが鮮やかでなくなってきたことから同協会は専門家に相談、「塩分濃度をこれ以上高めないようにしたほうがよい」とのアドバイスを受けた。群落は網走国定公園内にあり、工事についての許可・審査の権限を与えられている道から同協会は昨年十一月、工事の許可を得て、湖畔へ約二百メートル、高さ一メートル超の堤防を作るなどした。

ところが、工事の結果、湿地だった群落の乾燥化が進み、一部はアッケシソウがほとんど生えない砂地の広場になってしまった。同協会の松下伸次会長は「申し訳ないといひか言いがたい。今秋は難しいだろうが何とか早急に群落を復活させたい」としている。

アッケシソウ自生地の環境整備

奇島アッケシソウを守る会

会長 花房泰志

一、コロナ禍のアッケシソウ

平成一六年、アッケシソウを守る会を結成してから一七年。市当局のご指導ご支援をはじめ、浅口市スポーツ少年団の児童の皆さん。おかやま山陽高等学校サッカー部・空手部の皆さん。浅口清掃センターの社員の皆様方の、年三回の草刈作業への力強い参加。このようなアッケシソウに寄せる熱いボランティア活動に守られて、浅口市の宝物アッケシソウは今日まで守られてきました。

また、今年九月初旬、C地区では東側の遊水との間の雑木の下枝を伐採した結果、C地区の眺めが一変し、さわやかな景観となりました。

そんな中で、守る会恒例の春の研修旅行が、昨年に続き今年もコロナ禍によって残念ながら中止となりました。

さらにまた、九月の「緑のアッケシソウを楽しむ会」やアッケシランドの一大イベントである「アッケシソウ祭」が昨年に引き続き今年も中止となり、昨年の通り的一般公開にするなど、様々な行事や作業がコロナによって振り回されてきました。

二、A地区の環境整備

昨年来、研究討議を重ねて来たA地区のアッケシソウのより豊かな成育と、ヨシの駆除を目的にした海水の流入施設を

作りたいたいと考え、現場の水流検査などを現在行っています。

現在の施行案は、西の堤防の底を潜りぬけて来た海水を、A地区の必要な場所へ導き流布するために、適当な水路を施設し、永続的に万遍なく海水を流したい。これが完成すれば、ヨシの繁殖も減少し、アッケシソウのより豊かに成育が期待されると思います。

三、C地区の環境整備

前述のごとくC地区は、東側の雑木の下枝の伐採によって、風通しもよくなり、爽やかな景観になりました。

ところが、八月中は生き生きと生長していたアッケシソウが、九月になって急に南西の約半分が倒伏し、無残に枯れてゆきました。C地区では数年前もこのような状態が起こり、慌てて溝を通したことがありました。A地区の自生地が緩やかに傾斜しているのに対し、C地区はやや摺鉢状の平面であり、海水が中央部から湧き出しており、水の流れが停滞しがちなのです。

今年の夏は梅雨以降雨が無く、強烈な高温が続いたため、水の塩分濃度が異常に高まったためかと想像されます。その原因をきちんと究明し、来年に備えたい。いづれにせよ、地球の急激な温暖化による異常な夏の暑さがアッケシソウの成育を大きく左右するものと考えられます。

四、守る会の今後の課題

昨年に引き続きいた新型コロナ禍のために、今年も残念ながら近隣の児童や生徒の皆さんの草刈り作業のボランティア活動をお断りしました。

年々高まり行く地球温暖化のなかで、今後アッケシソウをどのように守り育て、次代に堅実に渡して行くかが、守る会に課せられた課題です。専門の先生方のご指導の下に、守る会の力を結集して今後の活動を大切に続けてまいります。



C地区・見通しが良くなった雑木林



A地区・海水流入施設検査現場

「企業等賛助会員」

アッケシソウを守る会の活動資金充足のため、今年度も企業賛助会員をお願い致しましたところ、三十二の企業・病院・金融関係・商店等からのご協力、ご支援をいただきました。心からの御礼を申し上げます。(アイウエオ順列記)

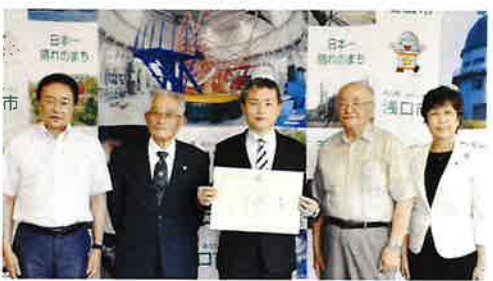
- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------|--------|---------|---------|------------|-----------|---------|----------|-----------|-----------|-----------|-------------|---------|---------|----------|---------|---------|--------|-------|-------|--|
| アキタ帽子協 | 池田歯科医院 | 榎一力興業 | 印刷のよこま | オカベポリ工業(有) | 垣内フォトスタジオ | 笠岡信用組合 | 寄島支店 | 株式会社ネシン | 株式会社川崎商會 | 株式会社吉川隆泉堂 | 金光病院 | 齋藤教材(株) | 齋藤産業(株) | 株式会社さぬきや | J.A晴れの国 | 岡山寄島支店 | しろやま歯科 | クリニック | 街管呉服店 | |
| すくすくこども | クリニック | 衛西備サービス | セイブスポーツ | 衛妹尾溶接 | 高山医院 | 中央ガス(株) | 株式会社ニッベコ | 株式会社美星ミート | 医療法人 福嶋医院 | 株式会社ミヤケ建設 | 医療法人 みわ記念病院 | 株式会社めぐみ | 山下農機商会 | 医療法人 よりし | ま中西医院 | ローソン 浅口 | 寄島店 | | | |

活動支援金の紹介

笠岡東ロータリークラブから、毎年ご厚志を賜わり、御礼を申し上げます。さらに今年も、当クラブの創立三十五周年記念事業として、アッケシソウを守る会へ多額の活動支援金を賜りました。誠に有り難く心からの御礼を申し上げます。



浅口市長感謝状



有限会社浅口清掃センター社員の皆様が、十一年間にわたりアッケシソウ自生地の草刈り・刈り草の運搬・清掃作業等、自生地の保護活動に貢献されたことに対し、栗山市長から乗藤昭範社長へ、感謝状が贈られました。

アッケシソウ自生地を 寄島小学校児童が見学

九月十四日、寄島小学校五年生の児童が、浅口市天然記念物に指定されているアッケシソウ自生地を訪れました。守る会の花房会長から、アッケシソウは塩湿地に生息する一年草、本州では寄島町で唯一自生している事、そして守る会が定期的に自生地の草刈りをしている事を聞いた後、児童の皆さんはA地区自生地に入り、アッケシソウの花を観察したり、花粉の採取に挑戦して、熱心にアッケシソウについて学んでいました。寄島小学校の五年生は地域の魅力について学ぶ小学校の一環としてアッケシソウの生育期間や紅葉期などについて自生地において学習をしています。



「アッケシソウを守る会」 からお願ひ

私達、守る会の作業員十五名は傘寿も米寿に達しており、体力的にも草刈り作業が困難となり、不参加を余儀なくされています。その様な厳しい中、新型コロナウイルス禍により、期待するおかやま山陽高校サッカー部・空手部の皆さんたち若い力に頼る事が出来なくなりました。しかしそのコロナの中にあつて現在、浅口清掃センター社員の力強いボランティア活動に助けられています。我々、守る会は、浅口市内外の皆さんの作業会員の入会を心よりお待ちしております。なお、会費は年間千円です。ふれあい会館「サンパレア」事務室までご連絡下さい。お待ちしております。

編集後記

「アッケシソウ通信」第十一号をお届け致します。今年、九月十一日に「緑のアッケシソウを楽しむ会」を行う予定でしたが、新型コロナウイルス禍により、中止をする事になりました。見学を心待ちにされていた皆様には残念なこととなりました。また今年も「アッケシソウ祭り」は、新型コロナウイルス感染予防対策として中止とさせていただきます。この「アッケシソウ祭り」にかえて、昨年と同じく「紅葉のアッケシソウ一般公開」を開催しましたところ、昨年以上の来観者がありました。来年こそは、「アッケシソウ祭り」が開催できるよう願っております。